

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-124500

(43)公開日 平成9年(1997)5月13日

(51)Int.Cl.
A 61 K 35/78

識別記号
ADA

F I
A 61 K 35/78

技術表示箇所
M
C
W

7/00

7/00

審査請求 未請求 請求項の数2 OL (全7頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願平7-283406

(22)出願日 平成7年(1995)10月31日

(71)出願人 000000918

花王株式会社

東京都中央区日本橋茅場町1丁目14番10号

(72)発明者 手塚 容子

栃木県芳賀郡市貝町赤羽2606 花王株式会
社研究所内

(72)発明者 萬 秀憲

栃木県芳賀郡市貝町赤羽2606 花王株式会
社研究所内

(72)発明者 ▲高▼木 豊

栃木県芳賀郡市貝町赤羽2606 花王株式会
社研究所内

(74)代理人 弁理士 有賀 三幸 (外3名)

最終頁に続く

(54)【発明の名称】アトピー性皮膚炎治療剤

(57)【要約】

【解決手段】ボタンビ、コウジン、ロクジョウ、アカ
メガシワ、チョウトウコウ及びシベットから選ばれる生
薬エキスの1種又は2種以上を有効成分とするアトピー
性皮膚炎治療剤。

【効果】アトピー性疾患において発症する様々な皮膚
症状を改善する。

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ボタンビ、コウジン、ロクジョウ、アカメガシワ、チョウトウコウ及びシベットから選ばれる生葉エキスの1種又は2種以上を有効成分とするアトピー性皮膚炎治療剤。

【請求項2】 剤形が皮膚外用剤である請求項1記載のアトピー性皮膚炎治療剤。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、アトピー性皮膚炎治療剤に関し、詳しくは、スフィンゴシルフォスフォリルコリン（SPC）による細胞内カルシウムイオン濃度上昇を抑制する生葉エキスを有効成分とするアトピー性皮膚炎治療剤に関する。

【0002】

【従来の技術】 アトピー性皮膚炎とは、アトビ一体質がある者に発症する痒みの強い湿疹性皮膚疾患であり、痒み、炎症の他、角化不全、バリア能低下、乾燥肌などの症状を示す。近年、生活環境の変化、食生活の欧米化、住宅環境の向上、ストレスの増大等による原因から、アトピー性皮膚炎に悩む者が急増しており、現在では乳幼児の10～20%以上に症状が見られる。アトピー性皮膚炎の多くは乳幼児から発症して成長と共に軽快傾向を示すが、近年では、成人型や難治性のアトピー性皮膚炎も急増しており、大きな問題となってきている。アトピー性皮膚炎のアトピーとはギリシャ語で「奇妙な」とか「場違いな」という意味であり、その名の通り、実態は未だ解明されていない。

【0003】 このため、現在行われている治療のほとんどが対症療法であり、医科的外用療法では、副腎皮質ホルモンを中心としたステロイド剤の適用がなされている。しかし、ステロイド剤は長期の使用により副作用を伴うことから、その使用には、医師の指導のもとに十分な注意が必要である。そこで、副作用の少ない安全な外用剤が望まれている。

【0004】 一方、アトピー患者の角層では、スフィンゴミエリンからセラミドを代謝する経路において健常人とは異なる機構が存在するため、スフィンゴシルフォスフォリルコリン（SPC）が産生し、SPCによりアトピー性皮膚症状が悪化することが示唆されている〔第93回日本皮膚科学会総会・学術大会（要旨集）〕。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 従って、本発明は、アトピー性皮膚炎において産生されているSPCの生理活性を抑制するアトピー性皮膚炎治療剤を提供することを目的とするものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】かかる実情に鑑み、本発明者は鋭意検討した結果、ボタンビ、コウジン、ロクジョウ、アカメガシワ、チョウトウコウ及びシベットのエ

キスがSPCの生理活性を抑制する作用を有し、これを使いればアトピー性皮膚炎の諸症状を改善・治療できることを見出し、本発明を完成するに至った。

【0007】 すなわち、本発明は、ボタンビ、コウジン、ロクジョウ、アカメガシワ、チョウトウコウ及びシベットから選ばれる生葉エキスの1種又は2種以上を有効成分とするアトピー性皮膚炎治療剤を提供するものである。

【0008】

【発明の実施の形態】 SPCの生理活性とは、ヒト表皮角化細胞における細胞内カルシウムイオン濃度の上昇を促す作用であり、このカルシウムイオンの上昇がアトピー性皮膚炎症状の悪化につながる。本発明のアトピー性皮膚炎治療剤の有効成分であるボタンビ、コウジン、ロクジョウ、アカメガシワ、チョウトウコウ及びシベットのエキスは、SPCによる細胞内カルシウムイオン濃度の上昇を抑制し、アトピー性皮膚炎症状を改善・治癒せしめるものである。

【0009】 本発明において使用される生葉エキスのうちシベットはチンキとして用いることが好ましく、他は抽出物として用いることが好ましい。

【0010】 ボタンビ抽出物は、ボタン (*Paenaea suffruticosa* Andrews) の根皮を乾燥したもの（生葉）を水又はエタノール、ブタノール、プロピレングリコール、1, 3-ブチレングリコール等の水溶性有機溶媒の1種又は2種以上を混合した溶媒、またはこれらの溶媒を水と組合させた溶媒で抽出することにより得られる。抽出で使用する溶媒の量は、生葉の1～20重量倍とすることが好ましい。本発明においては、得られた抽出液をそのままあるいはこれを濃縮して用いてもよく、当該抽出液を乾燥した乾燥粉末として用いてもよい。

【0011】 コウジン抽出物は、オタネニンジン (*Panax ginseng* C.A.Meyer) の根を蒸したものを上記と同様に抽出することによって得られ、抽出液として用いても、当該抽出液の乾燥粉末として用いてもよい。

【0012】 ロクジョウ抽出物は、マンシュウアカジカ [*Cervus(Cervus)elaphus* L.var.*xanthopygus* MILNE-EDWARDS] 及び／又はマンシュウジカ [*Cervus(Sika)hippon* TEMMINCK var. *mantchuricus* SWINHOE] の雄のまだ角化していない、もしくはわずかに角化した幼角を乾燥したもの上記と同様に抽出することによって得られ、抽出液として用いても、当該抽出液の乾燥粉末として用いてもよい。

【0013】 アカメガシワ抽出物は、アカメガシワ [*Mallotus japonicus*(Thunb.ex L.f.)Muell.Arg.] の樹皮を上記と同様に抽出することによって得られ、抽出液として用いても、当該抽出液の乾燥粉末として用いてもよい。

【0014】 チョウトウコウ抽出物は、トウカギカズラ (*Uncaria sinensis*(OLIV.)HAVIL) 及び／又はカギカズ

ラ [U. rhynchophylla(MIQ.)] JACKSON の茎枝の一部をついた鈎棘を乾燥したものを上記と同様に抽出することによって得られ、抽出液として用いても、当該抽出液の乾燥粉末として用いてもよい。

【0015】シベットチンキは、ジャコウネコ (Civet cat) の香腺分泌物を上記と同様の溶媒に溶解することにより得られる。溶媒の使用量は香腺分泌物の1~30重量倍とすることが好ましい。

【0016】これらの生薬エキスは1種又は2種以上を用いることができ、その配合量は、本発明のアトピー性皮膚炎治療剤中に乾燥固体分で0.00001~5重量% (以下単に%で示す) とすることが好ましく、0.0001~1%とすることが特に好ましい。

【0017】本発明のアトピー性皮膚炎治療剤には、必要に応じ、本発明の効果を損なわない範囲において、上記必須成分の他に通常化粧品や医薬部外品、医薬品等に用いられる各種任意成分を適宜配合することができる。このような任意成分としては、例えば精製水、油性成分、保湿剤、増粘剤、防腐剤、乳化剤、他の薬効成分、粉体、香料、乳化安定剤、pH調整剤等が挙げられる。

【0018】油性成分としては、例えば大豆油、ヌカ油、ホホバ油、アボガド油、アーモンド油、オリーブ油、カカオ脂、ゴマ油、バージン油、ヒマシ油、ヤシ油、ミンク油、牛脂、豚脂、合成ジグリセライド、合成トリグリセライド等の油脂類；カルナバロウ、ラノリン等のロウ類；ラウリン酸、ミリスチン酸、バルミチン酸、ステアリン酸、ベヘニン酸、オレイン酸、リノール酸、リノレン酸、ラノリン酸、イソステアリン酸等の高級脂肪酸類；ラウリルアルコール、ラノリンアルコール、コレステロール、2-ヘキシリルデカノール等の高級アルコール類；ジメチルポリシロキサン、各種変性シリコーン等のシリコーン油類などが挙げられる。保湿剤としては、例えばソルビトール、キシリトール、グリセリン、マルチトール、1, 3-ブチレングリコール、1, 4-ブチレングリコール、ピロリドンカルボン酸ナトリウム、乳酸、乳酸ナトリウム、ポリオキシプロビレン脂肪酸エステル、ポリエチレングリコール等が挙げられる。増粘剤としては、例えばカルボキシビニルポリマー、カルボキシメチルセルロース、ポリビニルアルコール、カラギーナン、ゼラチン等の水溶性高分子化合物；塩化ナトリウム、塩化カリウム等の電解質が挙げられる。防腐剤としては、例えば尿素、メチルバラベン、エチルバラベン、ブチルバラベン、安息香酸ナトリウム等が挙げられる。乳化剤としては、非イオン性、陽イオン性、陰イオン性、両性の天然又は合成のいずれのものも用いることができる。非イオン性界面活性剤としては、例えばポリオキシエチレンアルキルエーテル、ポリオキシエチレンアルキルフェニルエーテル、ポリオキシエチレン脂肪酸エステル、ポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸エステル、ソルビタン脂肪酸エステル、脂肪酸モノ

グリセライド、ショ糖脂肪酸エステル、高級脂肪酸アルカノールアミド等が挙げられ、陽イオン性界面活性剤としては、例えば4級アンモニウム塩が挙げられる。4級アンモニウム塩は通常身体用の組成物に用いられるものであれば、いずれも好ましく用いられるが、特に特開昭61-267505号公報に記載の分岐鎖4級アンモニウム塩を含有するものが好ましい。陰イオン性界面活性剤としては、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩、分岐鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩、アルキル硫酸塩、アルケニル硫酸塩、エチレンオキサイド及び／又はプロピレンオキサイドを付加したアルキルエーテルカルボン酸塩又はアルケニルエーテルカルボン酸塩、 α -スルホ脂肪酸エステル、アミノ酸型界面活性剤、リン酸エステル型界面活性剤、タウリン型界面活性剤、アマイドエーテルサルフェート型界面活性剤等が挙げられ、両性界面活性剤としては、スルホ酸型両性界面活性剤、ベタイン型両性界面活性剤等が挙げられる。粉体としては、例えばタルク、セリサイト、マイカ、カオリン、シリカ、ベントナイト、バーミキュライト、亜鉛華、雲母、雲母チタン、酸化チタン、酸化マグネシウム、酸化ジルコニア、硫酸バリウム、ベンガラ、酸化鉄、群青等が挙げられる。

【0019】本発明のアトピー性皮膚炎治療剤は、安全性、簡便性の点から皮膚外用剤として用いることが好ましい。皮膚外用剤の形態は、症状、目的などに応じて任意に選択することができ、例えば入浴剤、クリーム、ローション、乳液等とすることができる。

【0020】また、本発明のアトピー性皮膚炎治療剤には、アトピー性皮膚炎の諸症状の改善・治癒を期待するものであれば医薬品だけでなく、医薬部外品、化粧品も含まれることはいうまでもない。

【0021】

【発明の効果】本発明のアトピー性皮膚炎治療剤は、アトピー性疾患において発症する様々な皮膚症状を改善するものである。

【0022】

【実施例】以下に実施例を挙げて本発明を説明するが、本発明はこれらの実施例に限定されるものではない。

【0023】製造例1 ボタンビエキスの製造：ボタンの乾燥根皮670gを細切りしたものに水を加え、50°Cにおいて時々攪拌しながら抽出を行った後、圧搾分離し、濾過してボタンビエキス100g（固形分2.1%）を得た。

【0024】製造例2 コウジンエキスの製造：オタネニンジンの乾燥根1000gを蒸し、乾燥させて細切りしたものに30%エタノールを加え、50°Cにおいて時々攪拌しながら抽出を行った後、圧搾分離し、乾燥してコウジンエキス100g（固形分2.4%）を得た。

【0025】製造例3 ロクジョウエキスの製造：マンシュウアカジカの乾燥幼角1430gにエタノールを加

え、50°Cにおいて時々攪拌しながら抽出を行った後、
濾過してロクジョウエキス100g（固形分0.7%）を得た。

【0026】製造例4 アカメガシワエキスの製造：アカメガシワの乾燥樹皮400gを細切りしたものに水を加え、50°Cにおいて時々攪拌しながら抽出を行った後、圧搾分離し、濾過してアカメガシワエキス100g（固形分1.5%）を得た。

【0027】製造例5 チョウトウコウエキスの製造：トウカギカラの乾燥鈎棘（茎枝付）1600gを細切りしたものに水を加え、50°Cにおいて時々攪拌しながら抽出を行った後、圧搾分離し、濾過してチョウトウコウエキス100g（固形分1.8%）を得た。

【0028】製造例6 シベットチンキの製造：ジャコウネコの香腺分泌物5gをエタノール95gに溶解し、シベットチンキ100gを得た。

【0029】試験例1 SPCによる細胞内カルシウムイオン濃度上昇抑制：製造例1～6で得た生葉エキス及び表1に示すその他の被験物質それぞれと細胞内カルシウム蛍光指示薬であるFura-2/AM（（株）同人化学研究所製）を含む培養液中にて1時間培養したヒトケラチノサイトにSPCを添加した。この際に細胞内の340nm/380nmの2波長励起光に対する蛍光強度比をARUGUS-200/CA（浜松ホトニクス（株）製）により測定し、細胞内カルシウムイオン濃度上昇を観察した。なお、コントロールとして、Fura-2/AMのみを含む培養液中にて1時間培養したヒトケラチノサイトにSPCを添加した場合、細胞内カルシウムイオン濃度が上昇することを確認した。

【0030】

【表1】

被験物質	カルシウムイオン濃度上昇の抑制
アカメガシワ	○
オウゴン	×
オウレン	×
カミツレ	×
カンゾウ	×
ケイガイ	×
コウジン	○
サンシシ	×
ジオウ	×
シベット	○
シャクヤク	×
ソウジュツ	×
チョウトウコウ	○
ニンジン	×
ボウフウ	×
ボタンビ	○
ヨモギ	×
ロクジョウ	○

○：カルシウムイオン濃度上昇の抑制有り

×：カルシウムイオン濃度上昇の抑制無し

【0031】以上の結果より、アカメガシワ、コウジン、シベット、チョウトウコウ、ボタンビ及びロクジョウが、SPCのカルシウムイオン濃度上昇を抑制することが明らかである。

【0032】試験例2 アトピー性皮膚炎に対する効果：アトピー性皮膚炎に対する改善効果を観るために、アトピー性皮膚症状を持つボランティア30名を2群に分け、以下に示す入浴剤A及びB各20gを使用して1日1回入浴してもらった。改善率は、4週間後にボランティア本人の申告による症状の改善（やや良くなつた以上）を指標とした。

【0033】

【表2】

* 【0034】(製法) 油性成分を70°Cで加熱溶解し、攪拌しながら室温まで冷却した後、水層成分を添加し、透明液状入浴剤を調製した。

【0035】

【表3】

成 分	配合量 (%)	
	A	B
コウジンエキス(製造例2)	5	-
ポリオキシエチレンオイレル エーテル(2E.O.)	6	6
ポリオキシエチレンオレイル エーテル(10E.O.)	10	10
1-イソステアロイル-3- ミリストイルグリセロール	5	5
ホホバ油	5	5
流動パラフィン	30	30
ミリスチン酸オクチルドデシル	バランス	バランス
防腐剤	適量	適量
精製水	2	2
計	100	100

*

	良くなった	やや良くなった	変わらない	悪くなった
入浴剤A	11人	3人	1人	0人
	改善率: 93%			
入浴剤B	0人	1人	14人	0人
	改善率: 7%			

【0036】以上の結果により、コウジンエキスを配合した入浴剤が、アトピー性皮膚炎の改善に対し有効であることが明らかである。

【0037】実施例2

油性成分を70°Cで加熱溶解し、攪拌しながら室温まで冷却した後、水層成分を添加し、下記組成の透明液状入浴剤を調製した。

【0038】

【表4】

成 分	配合量 (%)
シベットチンキ(製造例6)	5
ポリオキシエチレンオレイル エーテル(2E.O.)	6
ポリオキシエチレンオレイル エーテル(10E.O.)	10
1-イソステアロイル-3- ミリストイルグリセロール	5
ホホバ油	5
流動パラフィン	30
ミリスチン酸オクチルドデシル	バランス
防腐剤	適量
精製水	2
計	100

【0039】実施例3

油性成分を70°Cで加熱溶解し、攪拌しながら60°Cに加熱した水性成分を加えて乳化し、この乳化物を攪拌しながら室温まで冷却し、下記組成のクリームを調製した。

30 【0040】

【表5】

成 分	配合量 (%)
アカメガシワエキス(製造例4)	5
モノステアリン酸グリセリル	5
モノステアリン酸ポリエチレン グリコール	2
スクワラン	8
トリオクタン酸グリセリル	8
ステアリルアルコール	5.5
ジメチルポリシロキサン	0.2
プロピレングリコール	5
防腐剤	適量
精製水	バランス
計	100

【0041】実施例4

50 油性成分を70°Cで加熱溶解し、攪拌しながら60°Cに

加熱した水性成分を加えて乳化し、この乳化物を攪拌しながら室温まで冷却し、下記組成のクリームを調製した。

【0042】

【表6】

成 分	配合量 (%)
ロクジョウエキス(製造例3)	5
モノステアリン酸グリセリル	5
モノステアリン酸ポリエチレン グリコール	2
スクワラン	8
トリオクタン酸グリセリル	8
ステアリルアルコール	5. 5
ジメチルポリシロキサン	0. 2
プロビレングリコール	5
防腐剤	適量
精製水	バランス
計	100

【0043】実施例5

配合成分を70°Cで加熱溶解しながら攪拌し、系が均一になった後、更に攪拌しながら室温まで冷却し、下記組成のローションを調製した。

【0044】

【表7】

成 分	配合量 (%)
ショウトウコウエキス(製造例5)	3
1, 3-ブチレングリコール	8
グリセリン	4
ヒアルロン酸ナトリウム	0. 1
エタノール	3
ポリオキシエチレンポリオキシプロ ピレンデシルテトラデシルエーテル	0. 3
クエン酸ナトリウム	1
エデト酸四ナトリウム	0. 1
精製水	バランス
計	100

* 【0045】実施例6

油性成分を70°Cで加熱溶解し、攪拌しながら60°Cに加熱した水性成分を加えて乳化し、この乳化物を攪拌しながら室温まで冷却し、下記組成の乳液を調製した。

【0046】

【表8】

成 分	配合量 (%)
ボタンピエキス(製造例1)	4
トリステアリン酸ポリオキシエチレ ンソルビタン	1
オレイン酸グリセリル	1
モノステアリン酸グリセリル	0. 5
スクワラン	6
トリオクタン酸グリセリル	2
オクタン酸セチル	2
ステアリルアルコール	2
1, 3-ブチレングリコール	3
グリセリン	1
キサンタンガム	0. 2
エデト酸四ナトリウム	0. 1
L-アスコルビン酸リン酸エステル マグネシウム	3
クエン酸ナトリウム	0. 5
精製水	バランス
計	100

フロントページの続き

(51)Int.C1.⁶

A 61 K 7/00

7/48

識別記号

庁内整理番号

F I

A 61 K 7/00

7/48

技術表示箇所

W

35/32
35/55

(72)発明者 植口 和彦
栃木県芳賀郡市貝町赤羽2606 花王株式会
社研究所内

35/32
35/55

(72)発明者 芦川 玄爾
栃木県芳賀郡市貝町赤羽2606 花王株式会
社研究所内
(72)発明者 矢田 幸博
東京都墨田区文花2-1-3 花王株式会
社研究所内

アクセスポイント1
Welcome to Network World

05/ 5/23 16:26:15

Login: dialog.
Password:
Trying 31060000009994...Open

DIALOG INFORMATION SERVICES

PLEASE LOGON:

ENTER PASSWORD:

Welcome to DIALOG

Dialog level 05.04.04D

Last logoff: 17may05 06:24:11

Logon file405 23may05 02:22:50

*** ANNOUNCEMENT ***

--UPDATED: Important Notice to Freelance Authors--

See HELP FREELANCE for more information

NEW FILES RELEASED

***FDAnews (File 182)

***German Patents Fulltext (File 324)

***Beilstein Abstracts (File 393)

***Beilstein Facts (File 390)

***Beilstein Reactions (File 391)

RESUMED UPDATING

***Canadian Business and Current Affairs (262)

***CorpTech (559)

REMOVED

***Health News Daily (43)

***FDC Reports Gold Sheet/Silver Sheet (184)

***FDC Reports (186/187)

***NDA Pipeline: New Drugs (189)

>>> Enter BEGIN HOMEBASE for Dialog Announcements <<<

>>> of new databases, price changes, etc. <<<

* * *

SYSTEM:HOME

Cost is in DialUnits

Menu System II: D2 version 1.7.9 term=ASCII

*** DIALOG HOMEBASE(SM) Main Menu ***

Information:

1. Announcements (new files, reloads, etc.)
2. Database, Rates, & Command Descriptions
3. Help in Choosing Databases for Your Topic
4. Customer Services (telephone assistance, training, seminars, etc.)
5. Product Descriptions

Connections:

6. DIALOG(R) Document Delivery
7. Data Star(R)

(c) 2003 Dialog, a Thomson business. All rights reserved.

/H = Help

/L = Logoff

/NOMENU = Command Mode

Enter an option number to view information or to connect to an online service. Enter a BEGIN command plus a file number to search a database (e.g., B1 for ERIC).

?B 3522

23may05 02:23:00 User371740 Session D3552.1
\$0.00 0.209 DialUnits FileHomeBase
\$0.00 Estimated cost FileHomeBase
DLGNET 0.002 Hrs.
\$0.00 Estimated cost this search
\$0.00 Estimated total session cost 0.209 DialUnits

File 352:Derwent WPI 1963-2005/UD,UM &UP=200532

(c) 2005 Thomson Derwent

*File 352: For more current information, include File 331 in your search.
Enter HELP NEWS 331 for details.

Set Items Description

? B 352

23may05 02:23:06 User371740 Session D3552.2
\$3.93 0.109 DialUnits File352
\$3.93 Estimated cost File352
DLGNET 0.001 Hrs.
\$3.93 Estimated cost this search
\$3.93 Estimated total session cost 0.318 DialUnits

File 352:Derwent WPI 1963-2005/UD,UM &UP=200532

(c) 2005 Thomson Derwent

*File 352: For more current information, include File 331 in your search.
Enter HELP NEWS 331 for details.

Set Items Description

?SS PN=JP 9124500

S1 1 PN=JP 9124500

?T S1/7/1

1/7/1

DIALOG(R)File 352:Derwent WPI

(c) 2005 Thomson Derwent. All rts. reserv.

011338583

WPI Acc No: 1997-316488/199729

Treatment agent for atopic dermatitis - contains dried root bark of R. Paeonia suffruticosa Anor. and root of Panax ginseng C.A. Meyer

Patent Assignee: KAO CORP (KAOS)

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
JP 9124500	A	19970513	JP 95283406	A	19951031	199729 B

Priority Applications (No Type Date): JP 95283406 A 19951031

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan Pg	Main IPC	Filing Notes
JP 9124500	A	7		

Abstract (Basic): JP 9124500 A

Treatment agent for atopic dermatitis, particularly external composition contains effective ingredients of dried root bark of *Paeonia suffruticosa* Andr., root of *Panax ginseng* C.A. Meyer, optionally dried extract of horn of *Cervus elaphus* L. var. *xanthopygus* Milne-Edwards, bark of *Mallotus japonicus* (Thumb. ex L.) Muell. Arg., thorn of *Uncaria sinensis* (Oliv.) Havil and/or tincture of secreta of Civet cat.

The effective ingredient(s) are used to prepare the composition at concentrations of 0.00001-5 (0.00001-1%) together with additives and carriers.

ADVANTAGE - Increase of cellular calcium ion with sphingosyl phosphoryl choline (SPC) is inhibited.

In an example a bathing agent containing an extract of root of *Panax ginseng* C.A. Meyer at a concentration of 5% showed improvement in 14/15 of patients with atopic dermatitis.

Dwg. 0/0

Derwent Class: B04; D21

International Patent Class (Main): A61K-035/78

International Patent Class (Additional): A61K-007/00; A61K-007/48;
A61K-035/32; A61K-035/55

?

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-124500

(43)Date of publication of application : 13.05.1997

(51)Int.CI.

A61K 35/78
A61K 35/78
A61K 7/00
A61K 7/48
A61K 35/32
A61K 35/55

(21)Application number : 07-283406

(71)Applicant : KAO CORP

(22)Date of filing : 31.10.1995

(72)Inventor : TEZUKA YOKO
YOROZU HIDENORI
TAKAGI YUTAKA
HIGUCHI KAZUHIKO
IMOKAWA GENJI
YADA YUKIHIRO

(54) THERAPEUTIC AGENT FOR ATOPIC DERMATITIS

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain the subject agent useful for treating dermal symptoms in an atopic disease, comprising a specific crude medicine having inhibitory action on physiological activities of sphingosylphosphorylcholine as an active ingredient.

SOLUTION: This therapeutic agent for atopic dermatitis comprises one or more of essences of crude medicines selected from Paenoia suffruticosa Andrews, Panax ginseng C.A.Meyer, Cervus (Cervus) elaphus L. var. xanthopygus Milne-Edwards, Mallotus japonicus (Thunb. ex L.f.)

Muell.Arg., Uncaria sinensis (OLIV.) Havil and Civet cat as an active ingredient. The essence of the crude medicine suppresses rise in calcium ion concentration in a cell by sphingosylphosphorylcholine. The content of the essence in the therapeutic agent is 0.00001 to 5wt.% calculated as a dried solid content.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C) 1998,2003 Japan Patent Office